

飲酒は20歳になってから。



私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所スタッフ一同

私たちも、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。



完成予想図



なぜ、クラフトビール会社がワイン?そんな声が聞こえてきそうなのでお答えします。私はクラフトビールはベアレンの目標の一つのツールであって、大事な文化を作ることだと思っています。

あなたがいることを思えると嬉しいです。

私たちも、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

新たな挑戦

新田洋一 代表取締役社長

10月、ベアレンにとって新たなスタートが2つ始まります。一つは10月4日開業の盛岡バスセンターに移転するビアバー・アレン中ノ橋の新店舗です。盛岡でできる新たな玄関口で地元のビールでお出迎えしたい、そんな気持ちを込めたお店です。

カウンターを中心の小さなお店ですが、その分気軽に短い時間でもビールを楽しんでもらえると思っています。クラフトビールはまだまだ多くの人に浸透しているとは言えません。様々な場面で楽しいと思います。

帰る前、少しの空き時間にも、降りた後、家に帰る前、少しの空き時間にも、帰る前、少しの空き時間にも、

帰る前、少しの空き時間にも、

帰る前、少しの空き時間にも、

帰る前、少しの空き時間にも、

BAEREN

ベアレンニュース 2022年10月号 No.204

新田 洋一

岩手県盛岡市北山1丁目3-31

ベアレン醸造所 ☎ 020-0061

無趣味の自分が、ある時から自己プロフィールに趣味はランニングと書くようになった。きっかけは2010年、息子にアマランソンだった。大会に行くと意外に知り合いが多い。つい先日、一緒に飲んだ人がハーフマラソンのスタートラインにて雲の上の存在に感じた。ゴール後の爽快感が忘れられず、一人でも大会に出るように、ハーフ、そしてフルマラソンに挑戦。盛岡シティマラソンの第一回大会で念願のサブ4を達成。一人で大会に出るようになつて7年目の秋だった。短い期間で人は変わるものだと自分でも驚くほど。何で走るのかよく聞かれるが健康は意識していない。足はよろちゅう痛めるし、血尿が続くことも。ではなぜ走るのか。ゴール後の達成感、記録が伸びる楽しさ、その挑戦が自分に合っている。なによりゴールタイムから



がしなかつたがランがはまり楽しんで完走。今月には3年ぶりに盛岡シティマラソンが開催される。地元の大会は最高だ。なじみの道をいつもと違った角度で見ながら、沿道で知り合いが応援してくれる。そのゴールから逆算して今日もランを実行中。次は零石工場のマードメークー、中山さんにリレーします。

今年、酔った勢いで約束した100kmマラソン、到底完走できる気楽しないで完走。今月には3年ぶりに盛岡シティマラソンが開催される。地元の大会は最高だ。なじみの道をいつもと違った角度で見ながら、沿道で知り合いが応援してくれる。そのゴールから逆算して今日もランを実行中。次は零石工場のマードメークー、中山さんにリレーします。

今年度より定番から秋冬限定へ変更となり惜しまれています!ちなみに瓶やグラスの底には酵母が沈んでるので、ヴァイツェンを飲む前には軽くゆすり過ぎずに残ったビール酵母に由来しています!ちなみに瓶やグラスの底には酵母が沈んでるので、ヴァイツェンを飲む前には軽くゆすり過ぎずに残ったビール酵母に由来しています!ちなみに瓶やグラスの底には酵母が沈んでるので、ヴァイツェンを飲む前には軽くゆすり過ぎずに残ったビール酵母に由来しています!ちなみに瓶やグラスの底には酵母が沈んでので、

やかさがアップしますよ!

季節限定ヴァイツェン、販売期間は9月頃から12月頃までを予定しています!ファンの皆さん、この秋冬でぜひ飲み貯めを(笑)

9月は「パンプキンエール」と新製品が盛りだくさんでしたね!どれも秋の爽やかな味覚とよく合います。ベアレンビールとともにエストでも提供された「フェストビール」と新製品が盛りだくさんでしたね!どれも秋の爽やかな味覚とよく合います。ベアレンビールとともにエストでも提供された「フェス

今月の新製品

藤村 美花 | 営業部流通課

ヴァイツェンファンの皆さま、お待たせいたしました!

さまでしたね!どれも秋の爽やかな味覚とよく合います。



編集後記

都鳥 勇介 | 総務部
定番ビールとなった「ヴァイツェン」、そしてオクトーバーフェスでも提供された「フェス



9月30日まで開催しました「大分かぼすフェアIN盛岡」当フェアをきっかけに地方都市同士で価値を見出合いながら地方を盛り上げていければと思います。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました!

学生さんをつなぐビール

菅原 聰子 | 総務部

ベアレン醸造所では学生さんの受入れを様々なかたちで行っています。中学生や高校生の職場体験、また大学生を対象にしたものはインター・ンシップ以外にもベアレンを知つていただける機会が多くござります。

今回ジョブカフエいわてが実現いたしましたのでしぶりに来ていただけることが実現いたしましたので

学生さんを通じ、北山工場へ久しぶりに来ていただけること

が実現いたしましたのでその様子をご紹介します。

一つめは岩手県立大学「スマイルチャージいわてプロジェクト」を履修している三年生の皆さんをお迎えした職場見学会です。一時間でしたのでギュッと凝縮したプログラムを立案、それを各部署の担当と共有した上で当日の資料作成など依頼し臨みました。

部の今野です。今回は、みなさま気になつていてるであろう、盛岡バスセンターに移転する中ノ橋店の話題をお話ししたいと思います。

【菜園マイクロブルワリー】

今野 克伸 | マイクロブルワリー

こんにちは、レストランなさま気になつていてるであろう、盛岡バスセンターに移転する中ノ橋店の話題をお話ししたいと思います。

この記事を書いている頃（9月16日現在）のバスセンターや内での工事は、いよいよ追い込みで、ヘルメットを被つた職人たちが右に左に忙しそうです。ベアレンの店舗はほぼ完成し、最後の看板の取り付けが残つている状況。それが終わると雰囲気もグンと変わつきそうです。

工事状況を確認する永野店長



笑熊会活動報告

木村 駿斗 | 製造部

こんにちは。笑熊会の駿斗です。2年ぶりの開催となつた「零石工場RUN & BBQ」はフルラン（北山工場→零石工場往復30キロ）、ハーフラン（零石工場→北山工場15キロ）の距離で過去最高となる21名でランを行いました。前日までは雨予想でしたが、途中にはお日様も見え非常に良いコンディションで走ることができました。ベアレンランニングクラブの仲間がトラックでエイド（給水・給食所）をしていただけたので助けがあり、全員がリタイヤできちゃうわけです。1Fにはマルシェもあるので買い物の途中に内緒で1杯なんてことも。また、3Fにはスパやサウナ、ホテルもありますので、お風呂に入つて2Fでくつろぐなんて贅沢は私も是非一度は経験したいですね。中ノ橋スタッフは、新規オープンの為に毎日忙しそうです。いよいよ10月4日のオープンに迫った中ノ橋店、自分食店3店舗と共に、カードコードの楽しさを見つけてくださいね。

過去最多の21名で集合写真



移転後の中ノ橋店は、バスセンタの一の2Fに岩手の木を基調とした店構え、階段を上ると大きな窓ガラスから光が差し込んだ空間で他の飲食店3店舗と共に、カードコードのよくな感じで利用いただけるお店に

ベアレン醸造所では学生さんの受入れを様々なかたちで行つております。中学生や高校生の職場体験、また大学生を対象にしたものはインター・ンシップ以外にもベアレンを知つていただける機会が多くござります。

今回ジョブカフエいわてが実現いたしましたのでしぶりに来ていただけることが実現いたしましたのでその様子をご紹介します。

一つめは岩手県立大学「スマイルチャージいわてプロジェクト」を履修している三年生の皆さんをお迎えした職場見学会です。一時間でしたのでギュッと凝縮したプログラムを立案、それを各部署の担当と共有した上で当社長の鳴田からの会社概要説明でスタートした見学会、その後は北山へおいでいただいたからにはマスト！の工場見学と続きます。後半はマーケティング・商品開発についてウラ話を交えたエピソードは営業部長から。また入社3年目で大学の先輩でもあるスタッフからYouTubeを通じての

情報発信について、さらには広報担当よりSNSの活用法を紹介しました。最初は緊張した面持ちの学生さんも、フレンドリーナ氛围が伝染笑したのか最後には質問が沢山飛び交い盛り上がりました。

二つめに紹介するのは「盛岡市ふるさとワーキングホリデー」に応募し、ベアレンでの仕事を希望した明治学院大学三年生、西野春華さんについてです。岩手に縁はなく都内の大学に通う彼女がどうしてベアレンなのか

最初は少し不思議でしたが、伝統的なビール文化を尊重していることや地域とのコミュニケーション形成、商品に込められたメッセージに共感してくださったことを知りました。またビール造りや岩手に関する、ワーホリに参加する前からよく調べ理解を深めていることに驚き、感銘を受けました。体験内容は営業の同行やお客様に届ける商品・ギフトの梱包作業、イラストレーターを使ってのデザイン製作、また新人スタッフが参加した自社の魅力を紹介するプレゼンを見



よ市体験中の春華さん

を体感し感概深い様子でした。

学し、同世代の活躍を直接見聞したり…。土曜日は材木町よ市でビールの注ぎ方をいたしました。その日も大盛況でしたが、お客様ごとベアレンをつなぐ「場」

わたしとベアレン

投稿者 | 佐藤 弘美

初めてベアレンを知ったのが2015年の5月のこと。盛岡市内で食事をした際にパートナーがオーダーしてビールを分けてもらつたのがきっかけ。地ビールってこんなに美味しいのかと感動したことが忘れられず、それからはべアレンのイベントは毎年のように参加し、春から秋までイベントをリサーチして他市町村まで電車を利用し参加するのを楽しみにしてました。現在はベアレンビールを樽生で提供している店舗が増え、そちらで樂しまでいます。フレーバーも多様化し、ますますベアレンビールのファンになってしましました。岩手の地ビールの美味しさをもっと沢山の人に知ってほしい気持ちちはファンにならざりません。

ベアレン醸造所はお客様まととの距離が近い会社だと事あるごとにお話をいたします。学生さんにとっても親しみをもつていただける、そんな存在にもっとなりたいですし、このようない体験を通して少しでも役に立つことができたら、こんな嬉しいことがあります。



笑熊会とは別になつてしまいますが、ビール好き・ランニング好きの方々の交流の場として、月に一度ほどのペースでランを行いその後にビールを楽しむ企画を開催しています。マイペースで走るのもよし。みんなと仲良く走るのもよし。私たちと一緒に走りましょう！気になつた方は「ベアレンランニングクラブ」で検索を。